

令和5年度小樽市自治基本条例アンケート実施結果報告書

1 調査目的

小樽市自治基本条例では、5年ごとに、条例が小樽のまちづくりに適しているかどうかを検討することになっており、その検討のための資料の一つとして活用することを目的とする。(平成30年度に1回目の検討をしており、令和5年度に2回目の検討をする。)

2 調査方法

第7次小樽市総合計画のアンケートの実施が同時期であったため、第7次小樽市総合計画のアンケートと合同で実施した。

無作為に抽出した18歳以上の市民2,000人を対象にアンケート用紙を郵送し、回答はインターネットフォーム、又は郵送で行うようお願いした。

- (1) 調査地域 小樽市内全域
- (2) 調査対象 小樽市内在住の18歳以上の市民
- (3) 抽出方法 令和5年4月13日現在の住民基本台帳より、市民2,000人を無作為抽出(層化抽出法)
- (4) 調査方法 郵送配布
回答方法は、郵送またはインターネットフォームでのオンライン回答
- (5) 調査期間 令和5年4月27日(木)～令和5年5月19日(金)
※郵送による回答は5月23日(火)到着分までを集計
※オンライン回答は5月19日(金)までの回答を集計
- (6) アンケート用紙 別紙のとおり

3 アンケート結果概要

(1) 回収結果概要

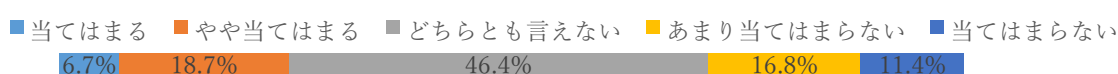
回収率 35.9%

送付数 2,000件

回収数 717件（内、郵送564件、オンライン回答153件）

(2) 回答結果概要

① まちづくりに積極的に参加したいと思う



どちらとも言えないが約半数を占めた。なお、年齢別では18歳から29歳が比較的参加の意思が強い結果となっており、他の世代と比較して特徴的な結果となった。

② まちづくりに市民の意見が十分反映されていると思う



どちらとも言えないが55%を占めたが、当てはまらない及びあまり当てはまらないが合わせて37%となっており、まちづくりに意見が十分に反映されていないと感じている市民が多いという結果となった。

③ 市民、議会及び市間の情報共有が十分行われていると思う



当てはまらない及びあまり当てはまらないが合わせて約46%となっており、情報共有は十分に行われていないと感じている市民が多いという結果となった。

④ 市から市民への情報提供が十分行われていると思う



当てはまらない及びあまり当てはまらないが合わせて約45%となっており、情報提供が十分に行われていないと感じている市民が多いという結果となった。

⑤ 市民参加及び協働によるまちづくりが十分行われていると思う



当てはまらない及びあまり当てはまらないが合わせて約41%となっており、市民参加や協働によるまちづくりが十分に行われていないと感じている市民が多いという結果となった。

⑥ 市によるまちづくりへの市民参加機会の提供が十分行われていると思う



当てはまらない及びあまり当てはまらないが合わせて約44%という結果となっており、市によるまちづくりへの参加機会の提供が十分に行われていないと感じている市民が多いという結果となった。

⑦ コミュニティ活動に積極的に関わっている



当てはまらない及びあまり当てはまらないが合わせて60%となっており、市民のコミュニティ活動への関心は高くないことが窺われる結果となった。

⑧ 市によるコミュニティ活動への支援が十分行われていると思う



どちらとも言えないが約49%となっており、市によるコミュニティ活動への支援が十分に行われていないと感じている市民が多いという結果となった。

⑨ 小樽市自治基本条例を知っていましたか

- 内容をほとんど知っていた
- 内容がある程度知っていた
- 条例があることは知っていたが、内容までは知らなかった
- 知らなかった



約53%が少なくとも条例があることは知っていたという結果となった。なお、年代別では年代が高くなるにつれ認知度が高くなるという傾向となった。

⑩ 小樽市パブリックコメント手続制度を知っていますか

- 内容をよく知っている
- 内容がある程度知っている
- 制度があることは知っているが、内容までは知らない
- 知らない



知らないが約63%となっており、認知度が低いという結果となった。特に若い世代ほど認知度が低いという結果となった。

⑪ 現在の小樽のまちづくりにおいて最も不足していると思うものはどれですか

- 市から市民への情報提供が不足している
- 市によるまちづくりへの市民参加機会の提供が不足している
- 市によるコミュニティ活動への支援が不足している
- 市民のまちづくりへの関心が不足している



まちづくりにおいて最も不足していると思うものについては、市民のまちづくりへの関心不足が半数を超え、最も多い結果となった。

4 アンケート結果詳細

(1) 回答者属性

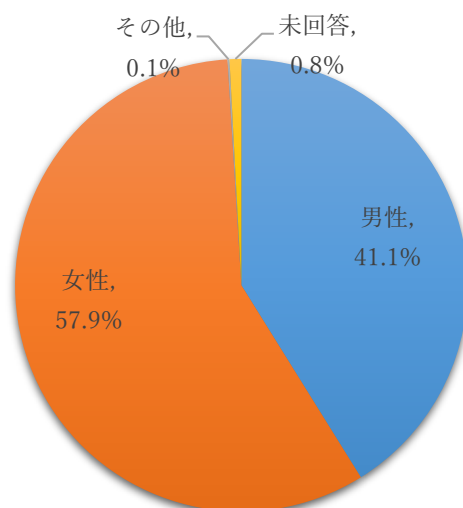
○性別

男性：295人（41.1%）

女性：415人（57.9%）

その他：1人（0.1%）

無回答：6人（0.8%）



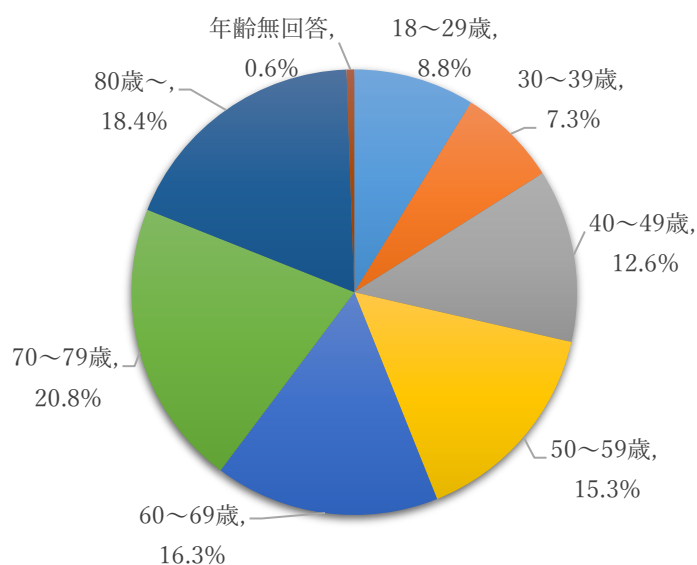
○年齢

18～29歳：63人（8.8%） 30～39歳：52人（7.3%）

40～49歳：90人（12.6%） 50～59歳：110人（15.3%）

60～69歳：117人（16.3%） 70～79歳：149人（20.8%）

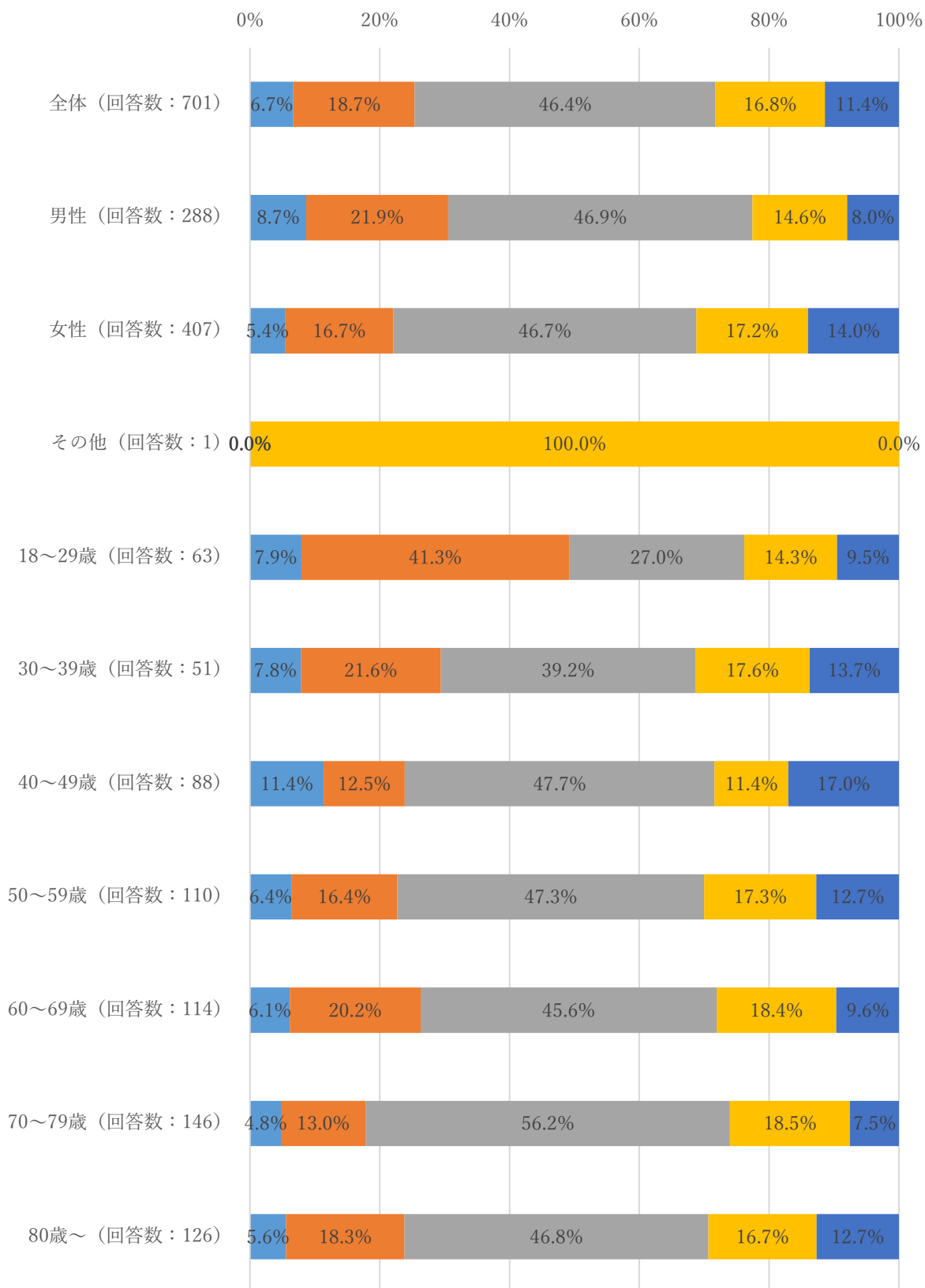
80歳～：132人（18.4%） 年齢無回答：4人（0.6%）



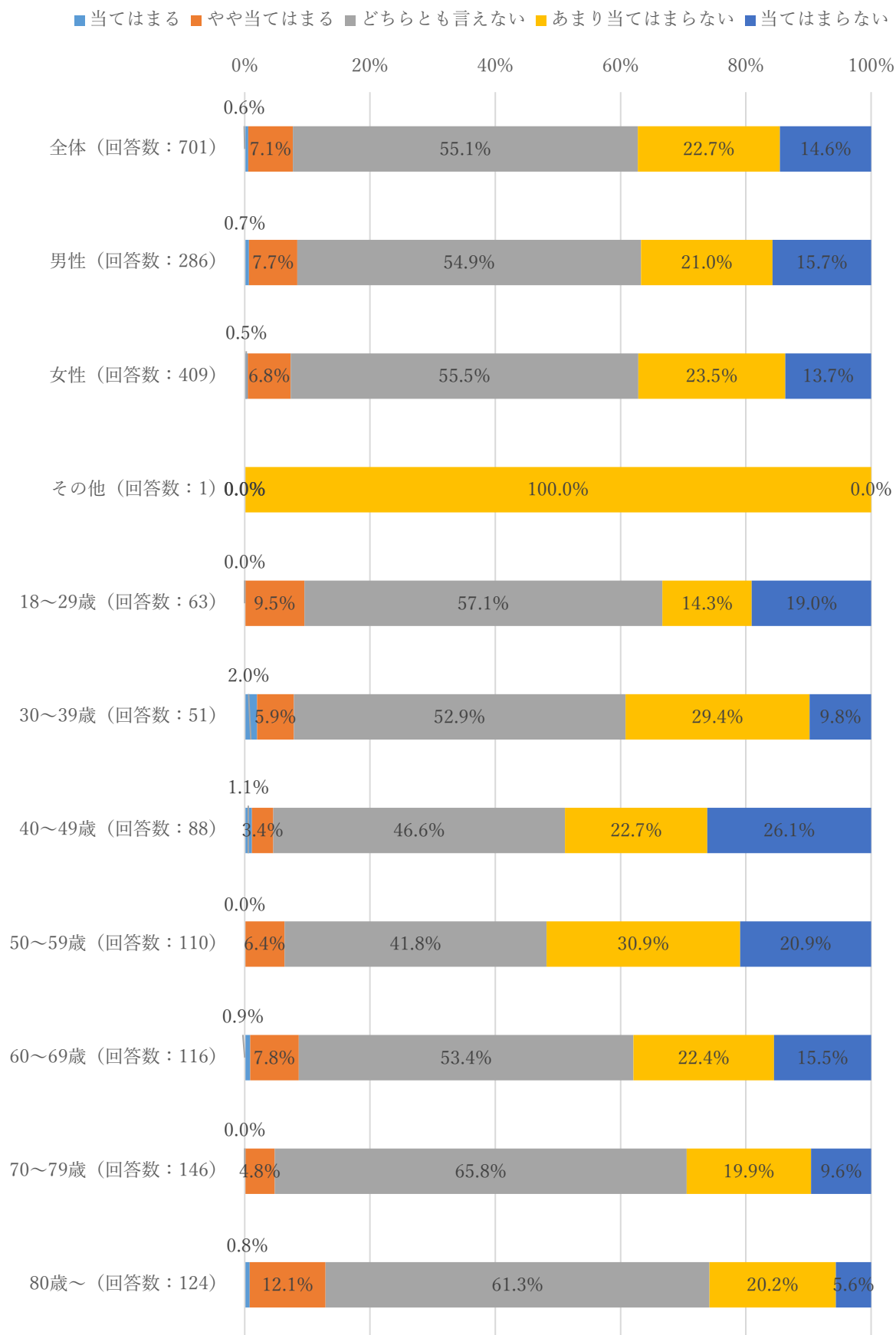
(2) 回答結果詳細

① まちづくりに積極的に参加したいと思う

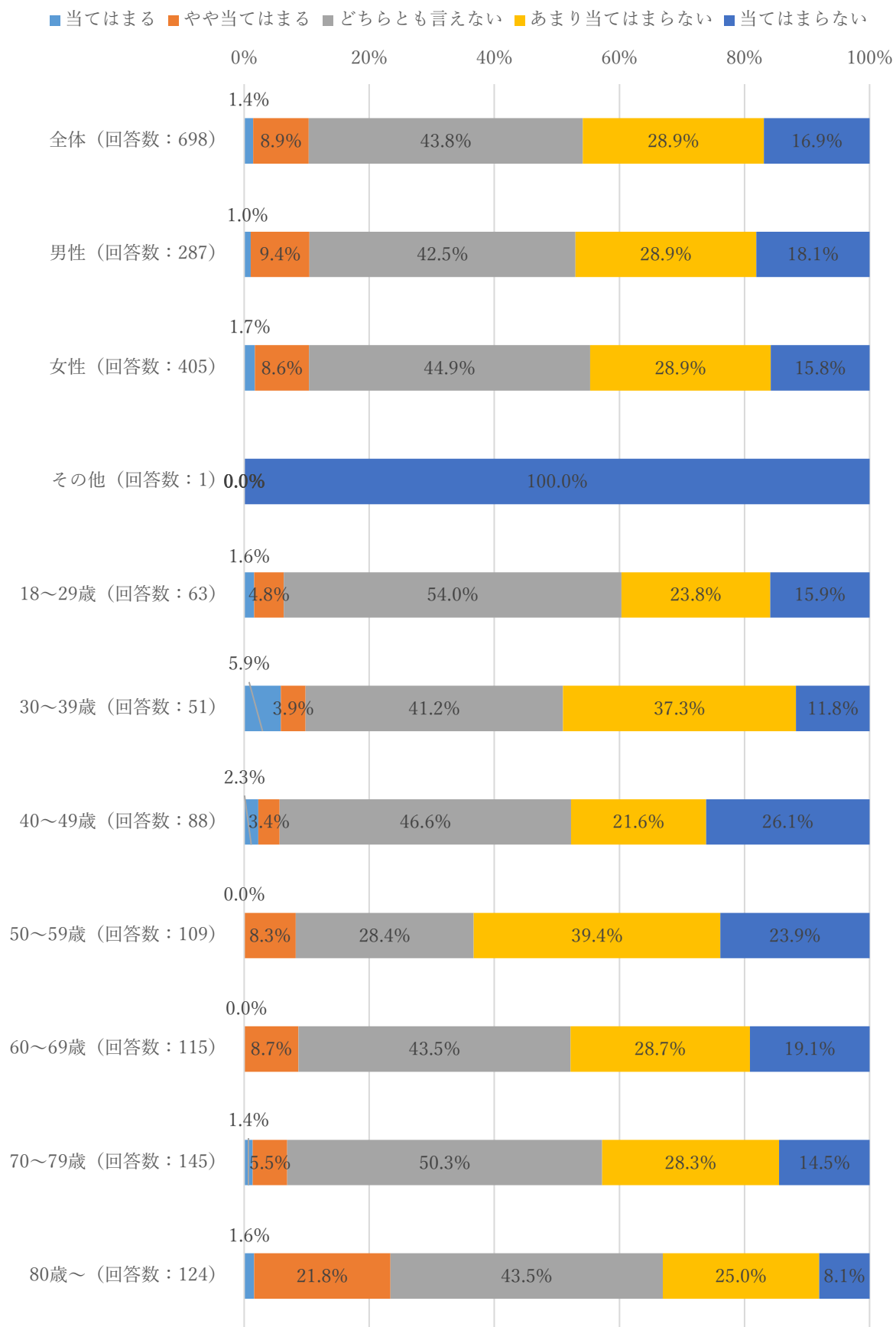
■ 当てはまる ■ やや当てはまる ■ どちらとも言えない ■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない



② まちづくりに市民の意見が十分反映されていると思う

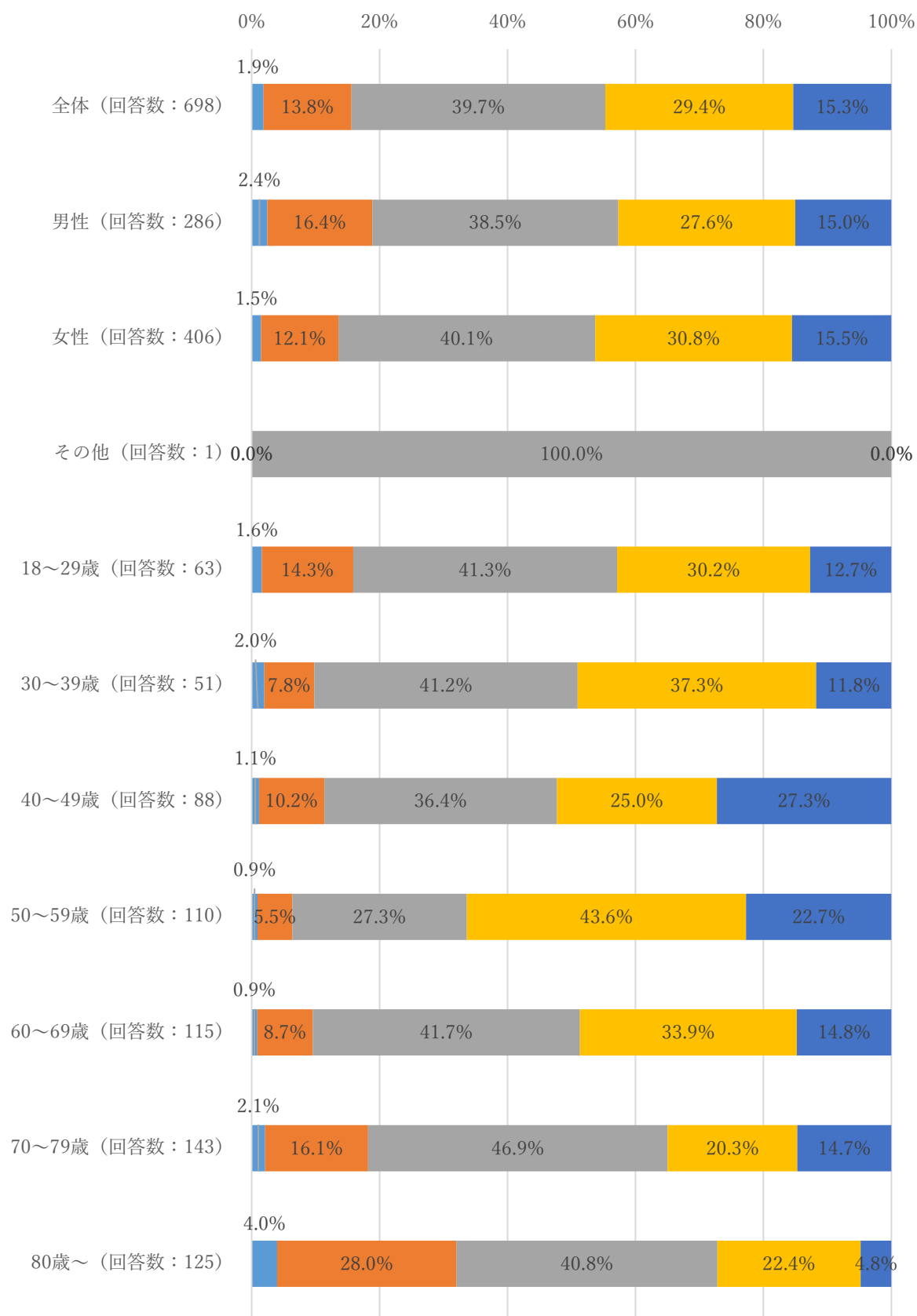


③ 市民、議会及び市間の情報共有が十分行われていると思う

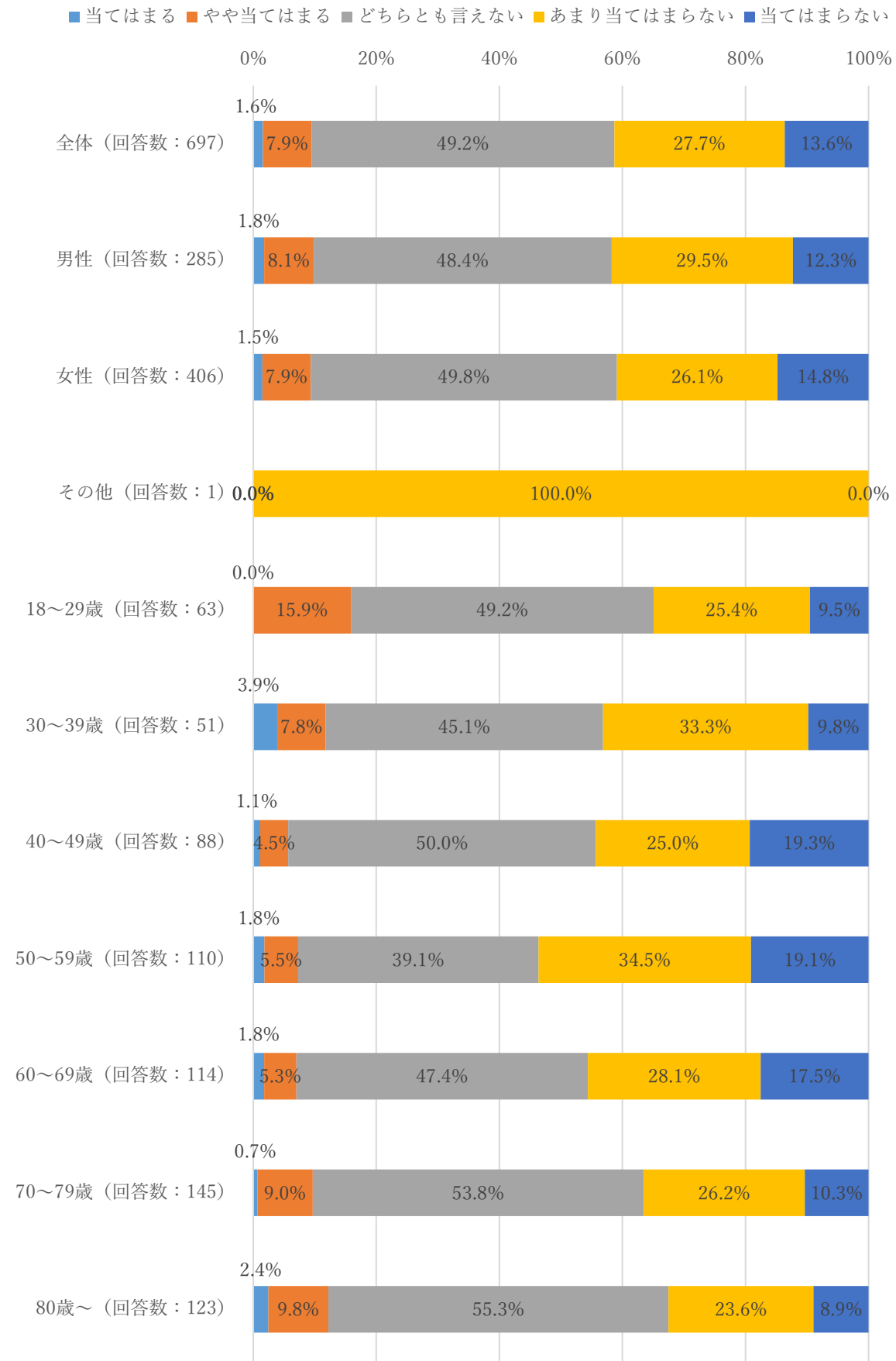


④ 市から市民への情報提供が十分行われていると思う

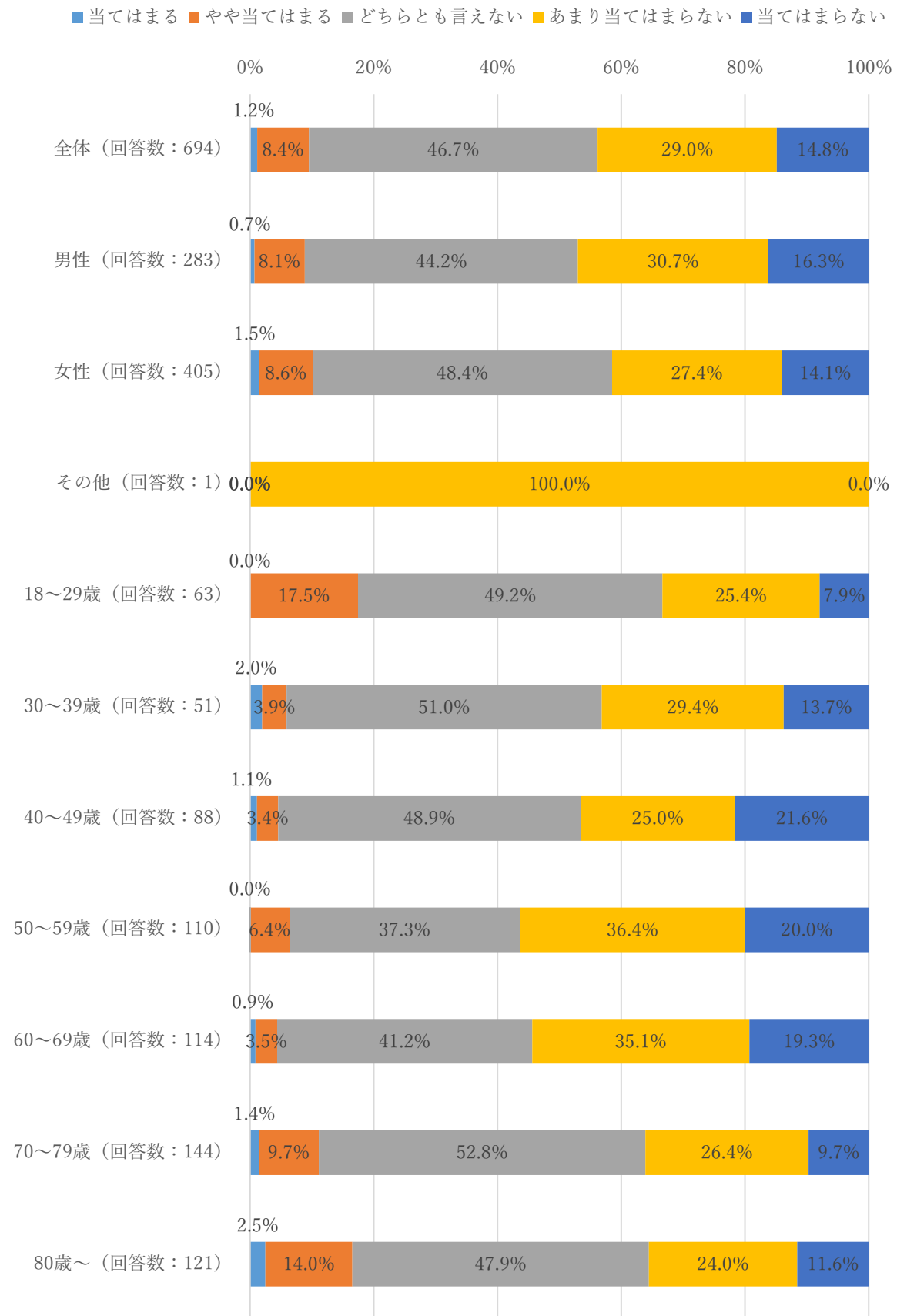
■ 当てはまる ■ やや当てはまる ■ どちらとも言えない ■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない



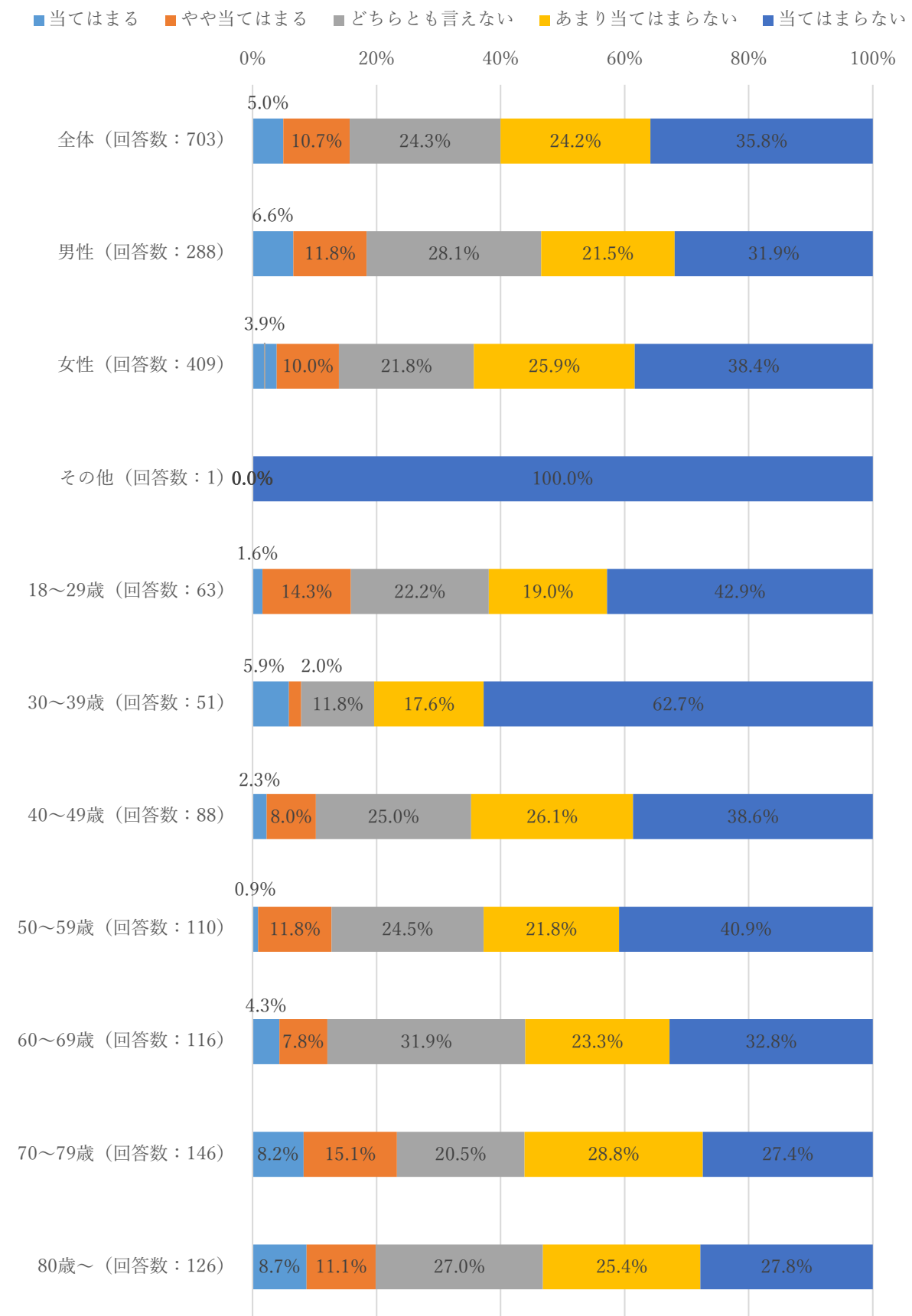
⑤ 市民参加及び協働によるまちづくりが十分行われていると思う



⑥ 市によるまちづくりへの市民参加機会の提供が十分行われていると思う

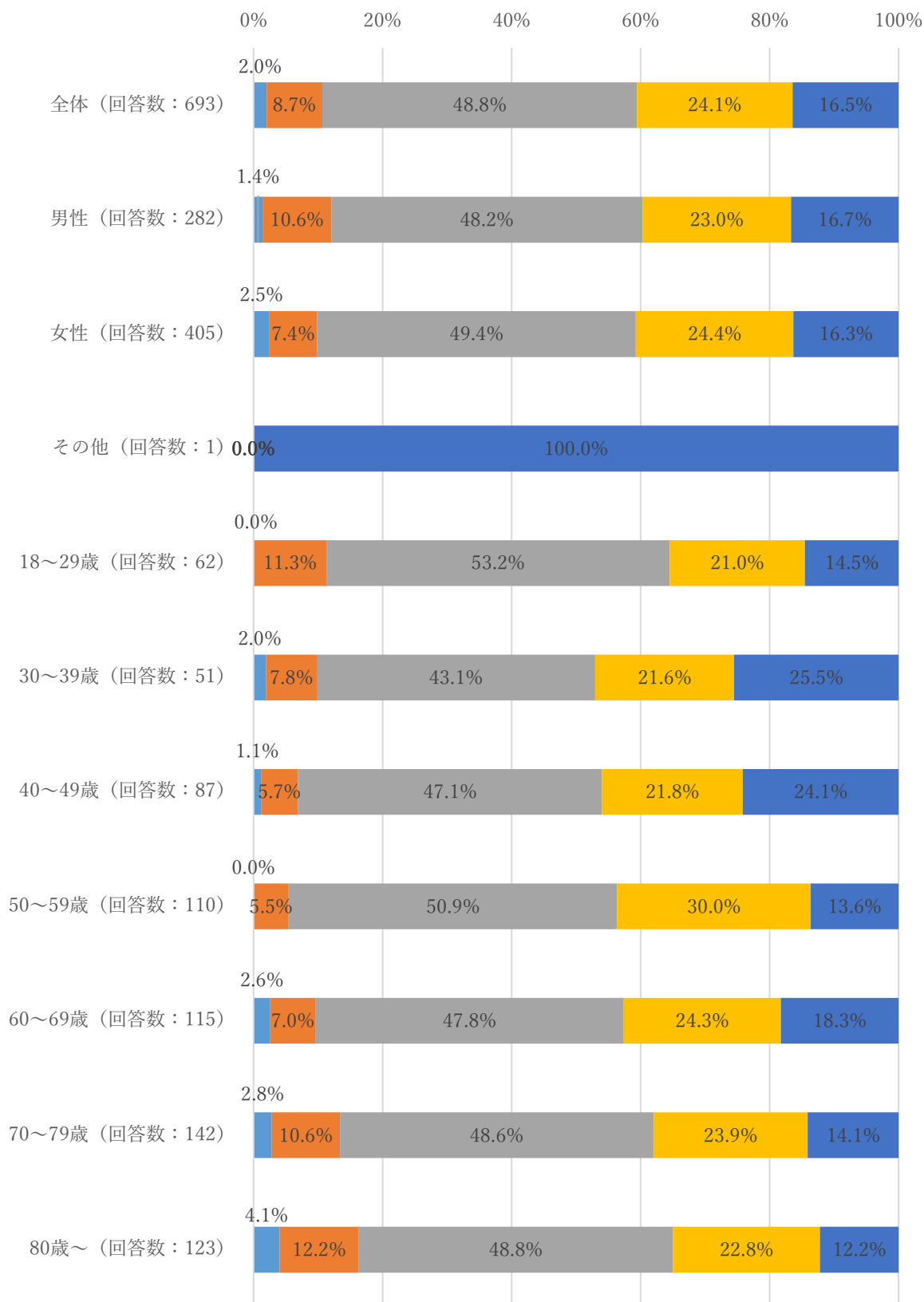


⑦ コミュニティ活動（町内会、ボランティア団体、市民団体などによる活動）
に積極的に関わっている

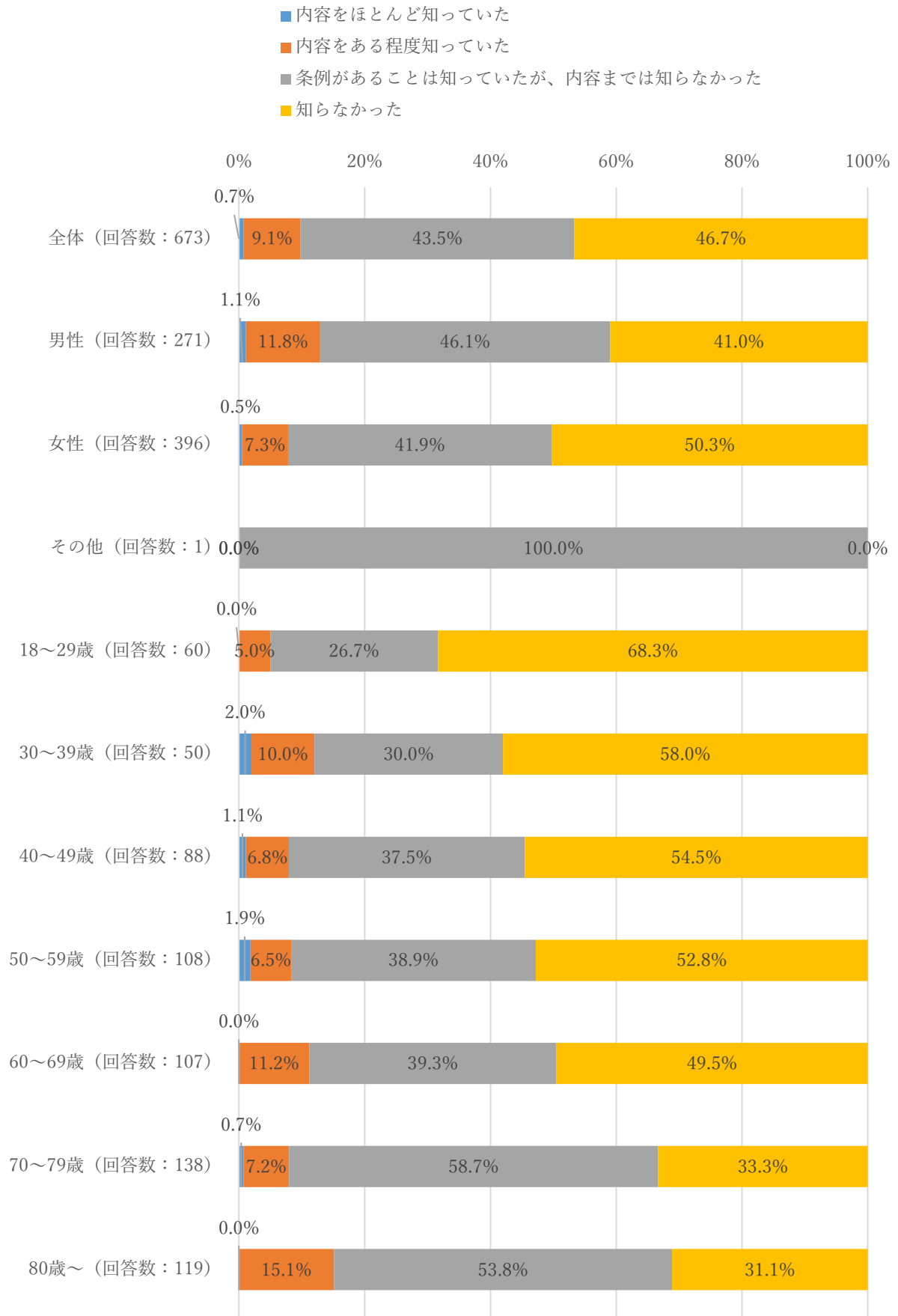


⑧ 市によるコミュニティ活動（町内会、ボランティア団体、市民団体などによる活動）への支援が十分行われていると思う

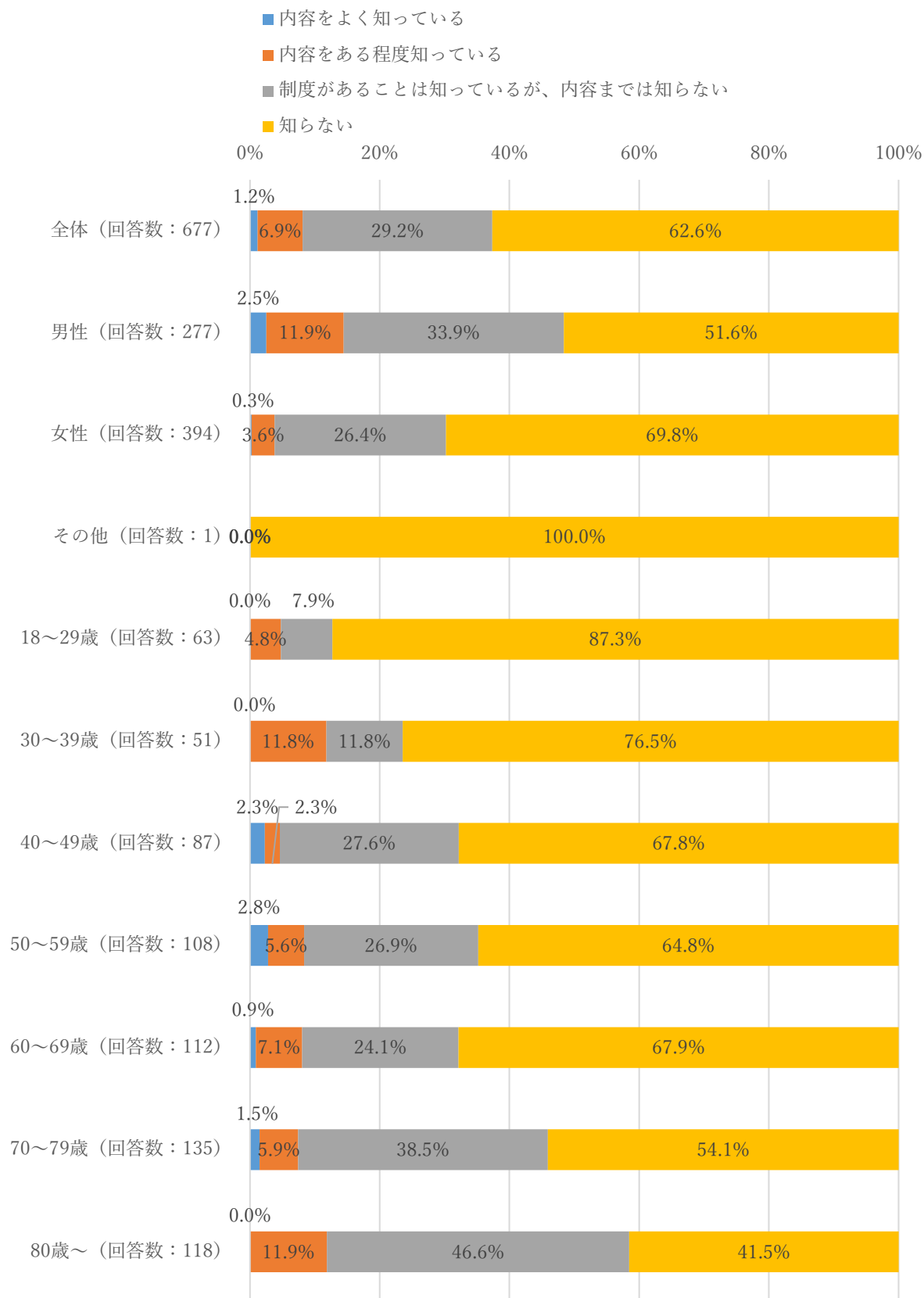
■当てはまる ■やや当てはまる ■どちらとも言えない ■あまり当てはまらない ■当てはまらない



⑨ 小樽市自治基本条例を知っていましたか。(最も当てはまるもの一つに○)



⑩ 小樽市パブリックコメント手続制度（市の計画などを策定する際に、市民等からの意見を募集し、その意見を考慮して策定する手続）を知っていますか。（最も当てはまるもの一つに○）



⑪ 次のうち、現在の小樽のまちづくりにおいて最も不足していると思うものはどれですか。（最も当てはまるもの一つに○）

